学校番号	２１３

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（教育出版）						
副教材等	くらしを生かすペン習字入門（教育出版出版） 高校硬筆の練習（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書写と書道の違いを学ぶ。
用具用材の説明を受け、表現の違いを学ぶ。
生涯を通して広く書を愛好する心情を育てる。

2　学習の到達目標

１年次の経験を生かし、より一層の書写からの発展を目指す。
篆書、隷書、草書の学習及び五書体の古典を題材にした創作。
書の良さ美しさを感じとり、応用作品にもチャレンジする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・意欲及び熱意、主体的に創造的活動に取り組もうとする姿勢 ・集中力 ・私語の有無	・書の良さや美しさを表現する工夫をする。	・作品の完成度を高めつつ、自分らしい文字を書くことをめざす。	・書の良さ、美しさを感じ取り、書の伝統と文化についての理解を深める。
評価方法	・授業中の取組状況 ・出欠・遅刻等の回数 ・準備・後片付けのチェック ・作品の提出	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品	・観察 ・提出作品 ・鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	篆書の学習	・篆書の古典臨書により基本的な点画線質の用筆法を習得する。 ・最も古い書体を勉強することによって文字の成り立ちを理解する。	○	○	○	○	a:集中して課題説明及び制作に取り組んだか b:篆書の特性を理解し、よりよい構想になるように工夫しているか c:文字の特性を生かし、美しく文字が書かれているか d:文字の成り立ちを理解し、書の美しさを感じ取っているか	・篆書作品
	隷書の学習	・現在でも広告文字で使用されている隷書を古典臨書することにより隷書の用筆法を完全に習得する。	○	○	○		a:課題説明及び制作に集中して取り組んでいるか b:隷書の特性を理解し、よりよい構想になるように工夫しているか c:文字が美しく書かれているか	・隷書作品
	隷書体の展開	・「体育祭」告知のポスターを隷書体で書く。校内に作品を展示する。	○	○	○		a:課題説明及び制作に集中して取り組んでいるか b:文字のレイアウトが工夫されているか c:隷書体文字の美しさ	・ポスター作品
	自分の好きな言葉の	・作品用押印のための篆刻	○	○	○	○	a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:作品構成、レイアウト c:完成作品の美しさ d:自作他作の良さ、美しさを感じ取っているか	・創作作品
2学期	草書の学習	・1番読みにくく、書きにくい書体を古典を臨書しながら用筆法を把握していく。 ・半切サイズに臨書	○	○	○	○	a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:草書の特性を理解し、よりよい構想になるように工夫しているか c:文字の特性を生かし、草書文字を美しく書く d:草書の良さを感じ取っているか	・草書作品

	創作五書体	・五書体の古典のを題材とし、取得した技法を生かして漢字1文字をセラミックボードに印字して彩色する。	○	○	○		a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:文字の工夫、配色のセンス c:作品の完成度	・セラミックボード作品
	創作	・五書体の古典を題材とし、習得した技法を生かして好きな文字を色紙に創作する。	○	○	○		a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:色紙のレイアウトの工夫 c:文字の美しさ	・創作作品
3学期	臨書	・五書体のうち、楷書と隷書の古典を半切に臨書する。	○	○	○	○	a:課題説明及び制作に集中して取り組んだか b:楷書、隷書の特性をとらえているか c: 文字の特性を生かし、指定された種類の書表現で美しく書くことができているか。 d:これまでの創作書道の良さ美しさを感じ取っているか	・臨書作品 ・鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。